

丘珠獅子舞の演舞

毎年九月十五日、丘珠神社例祭で獅子舞が奉納され、獅子舞を一目見ようと大勢の人が集まる。獅子が駆け回って頭を大きく振りかぶるなど、伝統を受け継ぐ勇壮で力強い舞いを披露するたび、観客から大きな歓声がかかる。



◆獅子舞奉納時間
午前十一時三十分
午後 三時三十分



◆獅子舞奉納時間
午前十一時三十分
午後 三時三十分

獅子の子どもが頭を噛むと、魔除けや病気をせず元気に育つといわれている。丘珠神社

以前は祝日だった丘珠神社例祭ですが、今は平日の年が多くなりました。保存会の皆さんは忙しい中スケジュールを調整し、伝統芸能の継承に尽力しています。地域に根ざす伝統は、今も変わらず地域の人々の努力で守られています。



丘珠連合町内会
会長
北島 英司さん

昔も今も、丘珠獅子舞には地域をまとめる力があります。そして幅広い年代の仲間に出会わせてくれました。原型を引き継ぐ貴重な伝統芸能を、後世にも伝えていきたいです。



札幌市無形文化財
丘珠獅子舞保存会
獅子頭長
前田 英一さん



←迫力の舞で観客を魅了
(昨年の丘珠神社例祭)

前田さんが獅子舞を始めたのは小学校2年生の時。獅子連中の一員だった父親に連れられて練習に参加したのがきっかけでした。

少年期は獅子取りとして活躍。現在は獅子頭振りのリーダーとして舞を盛り上げるほか、後進の育成にも力を入れています。



↑獅子頭の持ち方を指導



今月の「まちづくりびと(P8)」は、保存会の山田会長です。

このページについてのお問い合わせ
東区総務企画課広聴係 ☎741-2400
参考文献：丘珠獅子舞百年のあゆみ

札幌駅地下広場で 丘珠獅子舞が初披露

七月九日、丘珠獅子舞に縁のある北海道富山会館創立六十周年記念事業として、札幌駅前通地下北三条交差点広場で丘珠獅子舞が披露された。



激しく駆け回る獅子とそこに立ち向かう獅子取りの迫力の舞に、多くの人が見入っていた。

獅子頭の歴史

初代から現在使用中の獅子頭まですべてが現存し、その由来が明確であるのは全国的にも希少である。

初代獅子頭



1892 (明治25) 年～
1902 (同35) 年 活躍
丘珠小学校 郷土資料室
東区丘珠町593

2 代目獅子頭



1902 (明治35) 年～
1965 (昭和40) 年 活躍
札幌村郷土記念館
東区北13条東16丁目

3 代目獅子頭



1958 (昭和33) 年新調。
小型のためカヤの大きさと釣り合いが取れず、同年のみ使用。練習用として現在も活躍中。

4 代目獅子頭



1965 (昭和40) 年～
1990 (平成 2) 年 活躍
丘珠ふれあいセンター
東区丘珠町183-2

5 代目獅子頭



1990 (平成 2) 年～
現在も活躍中

